

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入(マーク)すること。

法 規 12問 30分

法 規 (1)

- 〔1〕 次の記述は、電波法の目的に関する電波法の規定である。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。
- 「この法律は、電波の公平かつ□な利用を確保することによって、公共の福祉を増進することを目的とする。」
1. 能率的
 2. 合理的
 3. 有効
 4. 適正
- 〔2〕 無線従事者がその免許を取り消された場合、無線従事者の免許が与えられないことがあるのは、取消しの日からどれほどの期間か、正しいものを次のうちから選べ。
1. 1年
 2. 2年
 3. 3年
 4. 5年
- 〔3〕 無線局が非常通信を行ったとき、電波法の規定により免許人又は登録人がとらなければならない措置は、次のどれか。
1. 地方防災会議会長に報告する。
 2. 非常災害対策本部長に届け出る。
 3. 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。
 4. 総務省令で定める手続により、承認を受ける。
- 〔4〕 免許人又は登録人が電波法に基づく命令に違反したとき、電波法の規定により、総務大臣が当該無線局に対して行うことがある処分を次のうちから選べ。
1. 3箇月以内の期間を定めた通信の相手方の制限
 2. 6箇月以内の期間を定めた電波の型式の制限
 3. 6箇月以内の期間を定めた無線従事者の業務の従事停止
 4. 3箇月以内の期間を定めた運用の停止
- 〔5〕 固定局の無線業務日誌に記載する時刻は、次のどれによらなければならないか。
1. 中央標準時
 2. 協定世界時
 3. 協定世界時。ただし、これによることが不便である場合は、中央標準時
 4. 中央標準時又は協定世界時
- 〔6〕 無線業務日誌の保存期間は、使用を終わった日から何年間か、正しいものを次のうちから選べ。
1. 1年間
 2. 2年間
 3. 3年間
 4. 5年間

国内電信級陸上特殊無線技士試験問題

法 規 (2)

〔 7 〕 無線局が、自局に対する呼出しであることが確実に
でない呼出しを受信したときは、次のどれによら
なければならないか。

- 1 . その呼出しが反復され、他のいずれの無線局も
応答しないときは直ちに応答する。
- 2 . その呼出しが反復され、かつ、自局に対する呼
出しであることが確実に判明するまで応答しな
い。
- 3 . その呼出しが数回反復されるまで応答しない。
- 4 . 直ちに応答し、自局に対する呼出しであること
を確かめる。

〔 8 〕 無線電信通信において、通報を確実に受信したと
きに送信することになっている略符号は、次のどれ
か。

- | | |
|---------------|---------|
| 1 . <u>ラタ</u> | 2 . T U |
| 3 . V A | 4 . R |

〔 9 〕 無線電信通信において、呼出しに使用した電波と
同一の電波により通報を送信する場合、順次送信す
る事項のうち省略することができるのは、次のどれ
か。

- | | |
|------------------|-----|
| 1 . 相手局の呼出符号 | 1 回 |
| 2 . (1) 相手局の呼出符号 | 1 回 |
| (2) D E | 1 回 |
| 3 . (1) D E | 1 回 |
| (2) 自局の呼出符号 | 1 回 |
| 4 . (1) 相手局の呼出符号 | 1 回 |
| (2) D E | 1 回 |
| (3) 自局の呼出符号 | 1 回 |

〔 10 〕 無線通信の原則として無線局運用規則に規定されて
いるものは、次のどれか。

- 1 . 無線通信は、迅速に行うものとし、できる限り速
い通信速度で行わなければならない。
- 2 . 無線通信に使用する用語は、できる限り通常使用
するものでなければならない。
- 3 . 無線通信に使用する用語は、できる限り簡潔でな
なければならない。
- 4 . 無線通信には、略語以外の用語を使用してはなら
ない。

〔 11 〕 無線局において、「OSO」を前置した呼出しを受
信した場合は、応答する場合を除き、次のどれによら
なければならないか。

- 1 . 混信を与えるおそれのある電波の発射を停止して
傍受する。
- 2 . 直ちに付近の無線局に通報する。
- 3 . 直ちに非常災害対策本部に通知する。
- 4 . すべての電波の発射を停止する。

〔 12 〕 無線局は、自局の呼出しが他の既に行われている通
信に混信を与える旨の通知を受けたときは、次のどれ
によらなければならないか。

- 1 . 空中線電力をなるべく小さくして注意しながら呼
出しを行う。
- 2 . 中止の要請があるまで呼出しを反復する。
- 3 . 直ちにその呼出しを中止する。
- 4 . 混信の度合いが強いときに限り、直ちにその呼出
しを中止する。